

**「校内研修プログラム」  
研修シート（試案）  
幼稚園**

# 研修シート(試案)

## I - 1 発達障がいの特徴の理解

- ◎ ねらい  
発達障がいのある子どもの学習の困難さを体験し、その心理や教師の指示の在り方を考える。

### 1 疑似体験 (教師役と子ども役、観察者に役割を分担して実施します)

#### 演習1

※演習例

- ① 教師役が次のような長い文章を早口で説明します。

明日は公園に出かけます。朝は8時に幼稚園に集まってください。

幼稚園からバスに乗って公園に行きます。

持ち物は、お弁当と水筒、ハンカチとちり紙、ゴミぶくろです。

気を付けることは、朝、お家でトイレに行っておくこと、忘れ物をしないで来ることです。

- ② このあと、教師役が子ども役に質問をします。

- ・明日はどこに出かけますか。
- ・朝は何時に幼稚園に集まりますか。
- ・持ち物は、何ですか。
- ・気を付けることは何でしたか。 など

#### 演習2

※演習例

準備：パソコンとプロジェクター、4×4のマス目の6か所に異なる絵（60ページ参照）

教師役が「4×4のマス目の6か所に異なる絵」を5秒間程度、スクリーンで見せます。  
スライドを消し、「覚えたものを手元の紙に書きましょう。時間は1分です」と指示します。  
「あと、何秒です」「早く書いてください」など、途中で急がせる声がけをします。  
答え合わせをした後、位置と物が合っている数を確認します。

### 2 振り返り (発達障がいのある子どもの心理面や教師の指示の在り方で気付いたこと)

# 研修シート(試案)

## I-2 実態把握、支援方法の検討

◎ ねらい

実態把握や支援方法を検討し、指導や支援の留意点を考える。

### 1 実態把握 (この項目や内容を参考に、気になる子どもの実態把握を行う)

| 内 容                     | 該当する場合○ |
|-------------------------|---------|
| 長所                      |         |
| がんばろうとしていること            |         |
| 言語発達が遅い                 |         |
| 絵本や紙芝居を座って静かに聞くことが苦手である |         |
| 数の理解が進まない               |         |
| 相手の気持ちに気付かないことがある       |         |
| 集団活動が苦手である              |         |
| 人より、物に興味関心が強い           |         |
| 衝動性が見られる                |         |
| 初めてのことや、初めての環境に戸惑うことが多い |         |

### 2 支援方法の検討

上の表の項目を踏まえ、支援の方法について検討する。

※ ポイント～当該の子どもにとって、最も困難なことのみに目を向けるのではなく、自立してできることをさらに伸ばす観点から、支援の方法を検討する。

### 3 振り返り (実態把握と支援方法の検討を通して、留意点として考えたこと)

|  |
|--|
|  |
|--|

# 研修シート(試案)

## Ⅱ－１ 個別の指導計画の作成

- ◎ ねらい  
個別の指導計画を作成し、書き方を考えるとともに、指導や支援の見通しをもつ。

氏名 \_\_\_\_\_

| 子どものよさ(○)<br>活動や生活上、困難なこと(△)   |                       | 長期目標<br>(1年後を目標に)  |                                    |
|--|-----------------------|--|------------------------------------|
| ※記入例<br>○ 自分の気持ちを相手に伝えることができる。<br>○ 見通しがもてると、集中して取り組むことができる。<br>△ 全体への指示を聞き取って行動することが難しい。<br>△ 座席のまわりが乱雑であり、自分の持ち物をなくしてしまうことが多い。 |                       | ※記入例<br>・説明や指示を聞き取って行動できる力を高める。<br>・園の生活のルールを守って、行動することができる。           |                                    |
| 短期目標<br>(1～3か月後を目標に)   | 場 面                   | 指導や支援の内容、方法  | 評 価                                |
| ※記入例<br>・集中できる時間が長くなるようにする。  | ※記入例<br>・保育中          | ※記入例<br>・何をするのか、見通しを示し、集中できるようにする。<br>・教室の音を減らし、教師の言葉も少なくし、集中できるようにする。 | ※記入例<br>・30分以上は座っていられるようになってきている。  |
| ※記入例<br>・持ち物を自分で片付けることができる。  | ※記入例<br>・保育中<br>・生活全般 | ※記入例<br>・持ち物の片付け場所を決める。  | ※記入例<br>・少しずつ片付けることができるようになってきている。 |

## 2 振り返り (個別の指導計画を作成して、気付いたこと)

# 研修シート(試案)

## Ⅱ－２ 個別の教育支援計画の作成

### ◎ ねらい

個別の教育支援計画について保護者の理解や同意を得るための説明や相談の仕方を考える。

### 1 保護者に個別の教育支援計画作成の同意を得るロールプレイ

(担任役、コーディネーター役、保護者役、観察役に役割を分担して実施します)

※ 場面を設定してロールプレイを行ってください。

※ ポイント～子どもの成長に向けて、保護者と共に考える姿勢を大切にしてください。

#### 【場面設定の例】

- ・ 絵本の読み聞かせなどの途中、立ち歩いてしまう子どもについて、当該の子どもの保護者と2回目の話し合いの場面
- ・ 1回目の話し合いで保護者は「特別なことはしてほしくない」と話していた。
- ・ そこで、次のような観点で教育相談を進め、最終的に個別の教育支援計画（それに代わるカードやノートなどでもよい）を作成することについて、同意を得ようとする場面

#### 【教育相談を進める観点】

- 保護者の思いを聞く
  
- 保護者に支援の内容や方法を提案する
  
- お子さんができるようになってきていること、うまくいっていないことを確かめ合う
  
- 次の支援を一緒に考える
  
- これらのことを記録しておくことのよさを話し合う

### 2 振り返り (場면을演示して気付いたこと)

# 研修シート(試案)

## Ⅲ－１ 学級づくり

### ① 指導や支援

◎ ねらい

各学級における発達障がいのある子どもへの配慮を含めた学級づくりの取組を交流し、指導上の課題や解決の方向性を整理する。

#### 1 実践の検討

| 目指す取組                         | 事例  | 各項目ごとの学級づくりに関する実践交流 |
|-------------------------------|---|---------------------|
| ※記入例<br>友だちの思いに気付けるような取組      | ※記入例<br>子どもたちの優しい言葉を増やすために、子どもたちが優しい言葉を使う度に、その言葉を掲示したり、「優しい言葉の木」を掲示し、シールを貼っています。  |                     |
| ※記入例<br>よい行動のモデルを示す取組         | ※記入例<br>「子どもたちがあたたかい言葉を使っていた」「誰かがこぼした水を拭いてくれた」など、学級で嬉しい出来事やよい行動が見られたとき、担任が理由を説明しながら子どもに伝えています。  |                     |
| ※記入例<br>教師の話に耳を傾けることができるような取組 | ※記入例<br>どの子どもも静かに集中して活動するために、ひそひそ声でしゃべる時間を指示しています。発達障がいのある子どもたちは、声の大きさの調節が苦手で、いきなり場にそぐわない声を出してしまうことがあるので、学級全員に対し、ひそひそ声の練習をしてから取り組んでいます。取り組んでいます。                |                     |
| ※記入例<br>保護者との信頼関係づくりの取組       | ※記入例<br>4月当初から、教師から見た子ども一人一人のいいところをメモしておいたり、「お子さんのよいところや担任にのぞむこと」などについて保護者アンケートをとっておき、その情報をもとに、家庭訪問や行事等の機会に「お母さん、◇◇さん、よくがんばっています。□□が得意なんですね。」と声をかけることを大事にしています。 |                     |

#### 2 振り返り(学級経営上の課題と解決策について、改めて気付いたこと)

|  |
|--|
|  |
|--|

# 研修シート(試案)

## Ⅲ－１ 学級づくり

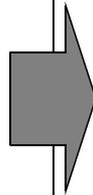
### ② 教師の言葉がけ

◎ ねらい

発達障がいのある子どもへの配慮を含めた学級づくりの取組を交流し、指導上の課題や解決の方向性を整理する。

**1 実践の検討**(「言葉がけ」を「好意に満ちた言葉がけ」に変える事例を検討し、子どもへの教師の言葉がけの在り方を整理する。)

|    | 「言葉がけ」                            | 「好意に満ちた言葉がけ」   |
|----|-----------------------------------|--|
| 例1 | 「A君、走らないでね！」                      | 「A君、今日は歩こうね。」  |
| 例2 | 「静かにしなさい！」                        | 「Bのグループは静かに待ってるね。」   |
| 例3 | 「1人ぼっちの友だちを仲間に入れて一緒に遊んだんだね。えらいね。」 | 「1人ぼっちの友だちを仲間に入れて一緒に遊んでくれたんだね。〇〇さん、すごく嬉しそうだったよ。先生も嬉しいよ。ありがとう！」 |
|    |                                   |  |



**2 振り返り**(教師の言葉がけについて、改めて気付いたこと)

|  |
|--|
|  |
|--|

# 研修シート(試案)

## Ⅲ－１ 学級づくり

### ③ 障がいの理解

◎ ねらい

発達障がいのある子どもへの配慮を含めた学級づくりの取組を交流し、指導上の課題や解決の方向性を整理する。

#### 1 子どもたちに障がいの理解を深める取組の交流

| 項目  | 取組事例   | 各項目ごとの取組交流 |
|---|--|------------|
| ※記入例<br>発達障がいのある子どもが学習や生活を行っていく上で困難なことの体験 | ※記入例<br>○ 気が散りやすく、刺激に反応してしまうことの体験<br>○ 友達を遊びに誘うのにうまく伝えられず、受け入れてもらえなかった体験           |            |
| ※記入例<br>一人一人のよさの理解                        | ※記入例<br>○ 子ども同士が、一人一人のよさについて理由を述べて学級全体に説明する機会の設定<br>○ 子ども一人一人の個人目標を、学級全員が確かめる機会の設定 |            |

#### 2 保護者に障がいの理解を深める取組の交流

| 項目                 | 取組事例   | 各項目ごとの取組交流 |
|--------------------|--|------------|
| ※記入例<br>一人一人のよさの啓発 | ※記入例<br>○ 保護者会等で、子ども一人一人のよさや違いを認め合う学級づくりを行うことについての説明<br>○ お便りなどで、子ども一人一人のよさを紹介する機会の設定<br>○ 子ども一人一人に活躍の機会を与える場の設定 |            |

別紙の「子どもたちへ」や「保護者の皆様へ」を参考にし、子どもたちや保護者に説明し理解を得ておくことも考えられます。

#### 3 振り返り (発達障がいについて、子どもたちや保護者の理解を深めるために行うこと、また、改めて大切にしたいこと)

|  |
|--|
|  |
|--|

## 保護者に対する発達障がいなど、特別な教育的支援についての説明例

### 保護者の皆様へ

子どもには、よさやできることがたくさんありますが、「言語発達が遅い」「基本的な生活習慣が定着していない」「会話がかみあわない」「落ち着きがない」など、どの子どもにも支援が必要なことがあります。

こうしたことから、本園では、校内委員会を設置して、特別支援教育コーディネーターを中心に、教職員全員で必要な指導や支援を行っていますので、御安心ください。

本園では、例えば、「遊びの中で実体験を充実させる」「そばについて、繰り返し丁寧に指導する」などの必要な支援を行っていきたいと考えています。すべての子どものよさや可能性を伸ばしていけるよう、一人一人に応じた指導や支援を行っていきますので、一部の子どもへの差別やえこひいきをするものではありません。

「互いのよさや違いを認め合える人間関係づくり」に取り組むことは、一部の子どもだけでなく、すべての子どもに対する指導の充実を図っていきけるものと考えておりますので、こうした取組について、御理解と御支援を賜りますよう、お願いいたします。

また、このことについて、御意見や御質問があれば、いつでも電話や手紙、メールなどをお寄せください。

## 子どもたちに対する発達障がいなど、特別な教育的支援についての説明例

### 子どもたちへ

ひとは、ひとりひとりちがいます。ひとりとして まったくおなじ人はいません。たとえば、「あしがはやい、おそい」「すきなたべものがちがう」などです。

ですから、みんなにも、「ことばで うまくはなせない」「みじたくが うまくできない」など、せんせいのたすけが ひつようなことがあるかもしれせん。

せんせいは、にがてなことには、たとえば、「あそびのなかで、いっしょにかんがえる」「そばについて、ゆっくりくりかえし はなしをする」など、たすけてあげたいと かんがえています。みんなの よいところが のびていくよう、ひとりひとりにあわせて おてつだいをします。

ですから、みなさんも、「ひとりひとりのよさや ちがいをたいせつにすること」に きょうりょくしてください。また、このことについて、おはなししたいことがあれば、いつでも せんせいにつたえてください。

# 研修シート(試案)

## Ⅲ－２ 保育の展開

### ◎ ねらい

発達障がいのある子どもへの配慮について考え、保育で心がけていくことを整理する。

※ 配慮の例で、既に行っているものは、□を塗りつぶしてみる。

※ 配慮の例で、その他に配慮していることや配慮が必要と考えたことを表の中に付け加える。

※ 今後、保育の準備や保育を行う中で、心がけていくことについて整理する。

### 1 保育中の配慮

| 時刻    | 幼児の活動   | 発達障がいのある子どもに対する配慮の例   |
|-------|---|---|
| 8:50  | <input type="checkbox"/> 登園する<br>・ 道具の後片付けをする                                     | <input type="checkbox"/> 所持品の置き場所や始末の手順などを、写真や絵カード等を用意し、自分で確認できるようにする。<br><input type="checkbox"/> 一日の生活の流れをスケジュール表などで知らせる。 |
|       | <input type="checkbox"/> 自分から環境にかかわって遊ぶ<br>・ 好きな遊びを見つけて遊ぶ<br>・ 先生や友だちと一緒に遊ぶ<br>など | <input type="checkbox"/> 落ち着いて遊びに取り組めるように刺激の少ない場所を用意する。<br><input type="checkbox"/> 遊びに必要な遊具や用具の場所を写真や絵カードで分かりやすく表示する。      |
| 11:40 | <input type="checkbox"/> 片付けをする   | <input type="checkbox"/> スモールステップの取組を支援する。<br><input type="checkbox"/> 全体への指示の前に、「時計の針が〇〇になったら片付けます」と個別に伝えるようにする。           |
| 12:00 | <input type="checkbox"/> お弁当を食べる  | <input type="checkbox"/> お弁当の準備や片付けの手順を絵カードで示し、自分で確認して行動できるようにする。   |
| 13:40 | <input type="checkbox"/> 降園する   | <input type="checkbox"/> 降園準備ができれば絵本を読むなど、楽しい活動を知らせ、気持ちが切り替えられるようにする。   |

### 2 振り返り(今後、保育で心がけること)

|  |
|--|
|  |
|--|

# 研修シート(試案)

## Ⅲ－３ 園内の連携

◎ ねらい

園全体で取り組む発達障がいのある子どもへの指導や支援の在り方を検討する。

### 1 A君への教職員一人一人のかかわり

※ 学級の中だけの対応から、園全体で組織的に対応していくため、教職員一人一人が時間帯によって、どうかかわれるかを考えてみる。

|      | 担任 | 特別支援教育支援員 | 園長 | 主任 | 担任以外の先生 |  |  |
|------|----|-----------|----|----|---------|--|--|
| 登園時  |    |           |    |    |         |  |  |
| 自由遊び |    |           |    |    |         |  |  |
| 外遊び  |    |           |    |    |         |  |  |
| お弁当  |    |           |    |    |         |  |  |
| 片付け  |    |           |    |    |         |  |  |
| 降園時  |    |           |    |    |         |  |  |

記入例

|      | 担任               | 特別支援教育支援員          | 園長               | 主任              | 担任以外の先生           |  |  |
|------|------------------|--------------------|------------------|-----------------|-------------------|--|--|
| 登園時  | 道具の後片付けを支援する     | 玄関から教室までの移動の様子を見守る | 玄関で保護者に体調などを確認する |                 |                   |  |  |
| 自由遊び | 必要に応じて、支援する      | 必要に応じて、支援する        |                  |                 | 他の教室に入った際、様子を確認する |  |  |
| 外遊び  | 必要に応じて、支援する      | 必要に応じて、支援する        |                  |                 | 担任が離れている際、様子を見守る  |  |  |
| お弁当  | 一人一人の安全な食事に留意する  | 弁当の準備や片付けなどを支援する   |                  |                 |                   |  |  |
| 片付け  | 必要に応じて、支援する      | 支援の結果をメモで担任に伝える    |                  | 必要に応じ、降園準備を支援する |                   |  |  |
| 降園時  | 玄関で保護者に今日の様子を伝える |                    |                  |                 |                   |  |  |

### 2 振り返り (園全体で支援を行うために心がけること)

# 研修シート(試案)

## IV-1 個別の指導計画の活用

- ◎ ねらい  
個別の指導計画をもとに、支援の改善やその質の向上について考える。

### 1 個別の指導計画に基づいた協議

#### 【協議の観点の例】

- 評価
  
  
  
  
  
  
  
  
  
- 子どものよさのとらえ直し
  
  
  
  
  
  
  
  
  
- 活動や生活を行っていく上で困難なことの再確認
  
  
  
  
  
  
  
  
  
- 長期目標や短期目標の妥当性
  
  
  
  
  
  
  
  
  
- 指導や支援の内容、方法の改善・充実の具体策

### 2 振り返り(協議を通して、改めて気付いたこと)

# 研修シート(試案)

## IV-2 個別の教育支援計画の活用

◎ ねらい

個別の教育支援計画を活用した次の校種への引継ぎの仕方について考える。

### 1 個別の教育支援計画を活用した次の校種へ引き継ぐ際のロールプレイ

(コーディネーター役2名、観察役に役割を分担して実施します)

※ 場面を設定してロールプレイを行ってください。

【場面設定の例】

・幼稚園のコーディネーターが、小学校のコーディネーターへ引き継ぐ場面

【引継ぎの観点の例】

○ 本人の思いや願い

○ できるようになってきたことやできそうなこと

○ 保護者の願い

○ これまで取り組んできた環境づくりや支援

○ 特に留意すべき点

### 2 振り返り (場面を演示して気付いたこと)